

# 目黒区議会議員 宮澤宏行

## 「ひろゆきタイムズ」 秋号 H24

発行元：自由民主党 宮澤宏行事務所 目黒区八雲2-25-12 電話3724-8209

### 通わせたいのは、心です。

秋晴れの心地よい季節となりましたが、皆様におかれましては、健やかにお過ごしのことと存じます。私も、皆様に区議会に送り出していただいてから、早いもので1年半が経過しました。この間、皆様の温かいご声援と激励をいただきながら、無我夢中で走り抜いてまいりました。これからも、豊かに暮らせる「ふるさと目黒」の実現のため、さらにステップアップしていく所存です。

さて、私の議員としての活動を分かりやすくご報告させていただくため定期的に「ひろゆきタイムズ」を発行致します。ご意見、ご要望、いつでも承りますので、お気軽にお声かけください。

区議会所属：都市環境委員会・区有施設等調査特別委員会・住宅街づくり審議会



街がきれいなほど、犯罪

は減少する！

更なる安心を目指し、新たな防犯対策を提言。

ニューヨーク市では、軽微な犯罪を取り締まることで凶悪犯罪を抑止し、治安を回復させました。

これは、割れた窓ガラスを放置するような小さなことから地域が荒廃し、犯罪が増えてしまうという「割れ窓理論（ブローkun・ウインドウズ）」による対策です。

これを参考に、「美しい街」を印象付けることで犯罪を抑止しようという取り組みが、都内では足立区や杉並区で行われており、大きな効果が上がっています。

幸いにも、八雲・柿の木坂・東が丘等の地域は比較的、安全な地域とされていますが、私たちの街をさらに安心にするべく「宮澤宏行」は、第2回区議会定例会で「花で彩る防犯街づくり」運動を、区の既存の

グリーンクラブ事業や防犯対策事業などバラバラの運営ではなく、所管が横断的な連携をすることにより、効率的に実施するよう区長に要請しました。

区長は、「花の植栽等の地域参加型の施策は、防犯の視点からも効果的で、引き続き推進していく。」と答弁しましたが、本当に理解して実施していくのか、また、地域で地道に植栽ボランティアをしている人たちを正當に評価していくのか、街のお花屋さんや商店街振興も兼ねた事業として膨らみを持たせられないか等、さらに注視していきます。



第2回区議会定例会、自席での再質問

## 東根住区に、なんで児童

## 館がないの？

### 区施設を有効活用し児童館整備提言。

地域の子供たちを見守る場として児童館の役割は大変大きいものがあります。その一方で、区内で児童数が2番目に多いにも関わらず、東根地区には児童館がありません。

目黒区の現在の財政状況から、新しい児童館を建設することは難しいと考えられますが、東根には職員用の住宅があります。防災対策から、その全てをなくすことは難しくても、建物の一部を児童館用に提供することは十分に可能であるはずで。

「宮澤宏行」は、第2回区議会定例会で、このことについて区長に問い質したところ、区長は「区有施設見直し検討と連動した効率的な整備計画を策定していく。」と答弁しました。今後、区ではいずれかの施設との合築の可能性も含め、児童館整備の検討を進めていくようですが、具体的な検討が確実

に進み、一日も早く児童館が設置されるよう、今後も区と協議を進めていきます。



合築可能な職員住宅

## 目黒区初！柿の木坂み

## どり町会スタンドパイプ

## を配備！

地域防災力の向上に、新たな一歩。

8月5日(日)に柿の木坂みどり町会でスタンドパイプの防災訓練が実施されました。スタンドパイプとは、道路上に設置されている「消火栓(黄色い枠で囲ってある)」に直結して吸水、ホースを通じて放水できるというもので初期消火機材として昨今注目を集めており、有効性を区に提言しました。

また何よりの利点は、操作が簡単であることや可搬ポンプのように場所をとらないこと、また電源を必要としないことなど、今後、地域住民による初期消火の主流になっていくと思います。

柿の木坂みどり町会は、今回、東京都の補助制度を利用して購入しましたが、「宮澤宏行」は、一般質問した通り、区独自の支援の拡充を求めていくつもりです。



私も当日訓練に参加しました！！

町会の皆さん、消防団、消防署の皆様お疲れ様でした。

## 私道防犯灯LED化は防

## 犯、節電、環境に有効！

町を見守る各町会で、意識が高まる。

最近、全国のいたるところで防犯灯をLED化するところが増えてきました。これは、LEDが単に明るいただけではなく、高寿命でしかも消費電力が少ないこと、犯罪の抑制になるからです。このことから、私道防犯灯をLED化することで、明るい街づくりの構築、環境に配慮した低炭素社会への寄与、また東日本大震災後の消費電力の削減と地球環境と人にやさしい街づくりを行うことができます。

たとえば、防犯灯を80本LED化すると、年間のCO<sub>2</sub>排出量は、千二百kg削減されることとなります。これは、杉の木85本分のCO<sub>2</sub>吸収量に相当します。

このように、一石三鳥の効果を期待できるものにも関わらず、目黒区ではまだ導入していません。

そこで、「宮澤宏行」は、このことについて一般質問で区長に問い質したところ、区長は「町会等が設置する私道防犯灯のLED化を促進する」と答弁しましたが、いつから、どのようにという具体的な話は出ませんでした。そのため、防犯意識の高い、中根西町会では、全額自費(自助努力)で、住民の夜間の安全を守るため、私道防犯灯をLEDに率先し変更しました。

LED化の初期投資は、確かにお金はかかります。しかし、多少お金がかかっても、ランニングコストが安いほうがいいに決まっています。このようなその場しのぎの対応で、中長期的な視点を持って政策を実行していかないと、結局は、そのツケが次世代に回ってしまいます。



目黒区をはじめとする多くの自治体は単年度の予算と決算に目が向いています。

### 消費電力の比較

種類	白熱灯	電球型 蛍光灯	LED電球
60W相当	54W	12W	7.5W
40W相当	36W	8W	4.5W

※LED電球については一般的なタイプで一番W数が高いものを記載

これは、民間企業が導入している複式簿記や賃借対照表の観点で完全に欠如しているからです。「宮澤宏行」は、これまでの20年間を超える、民間企業での実務経験を踏まえ、民間的な経営の発想を持って、効率的な行政経営の視点からの提案を行い、区民の皆様方からお預かりする税金をできるだけ有効活用していく所存です。

# 東京都・目黒区合同の総 合防災訓練、開催され る！

「近所助け合いの底力、ここに集結。」

さる9月1日の土曜日に、駒沢オリンピック公園をはじめとする区内複数の会場で、目黒区としては、はじめての取り組みとなる、東京都との合同総合防災訓練が開催されました。西部地域の皆さんには、駒沢オリンピック公園に多くの方々にご参加いただき、お疲れ様でした。

駒沢オリンピック公園会場の救出・救助訓練エリアでは、目黒区民・世田谷区民が「共助」による、応急救護・初期消火・救出救助訓練を行い、「公助」による訓練では、木造住宅密集地域を再現し、警察・消防・自衛隊などの防災機関とアジア大都市ネットワーク（ソウル、シンガポール、台北、新北）の連携による救出救助などが行なわれました。



駒沢公園会場での区民参加型初期消火訓練の様様

西小山駅周辺の訓練会場では、木造住宅密集地域である実際の街区を使い、発災直後地震によって建物が倒壊したことを想定して、幅4メートルの道路に倒壊家屋を並べ道路がほぼ塞がれた状況下で訓練が行われました。

訓練では、地域住民が建物の下敷きになった人々を身近な道具（ノコギリ・ボール等）を使用して救出救助を行い、初期消火では

消火器・小型消防ポンプなどを使用して消火活動を行いました。このように訓練を日々積み重ね、「近所の底力」を見せることが、なにより防災対策です。訓練に参加した多くの方々を頼もしく感じた一日でした。



西小山会場での小型消防ポンプ訓練

最後に「宮澤宏行」は、一般質問で「防災訓練とは別に、区が配備する災害時用備蓄食料は、現在の1日分で果たして十分なのか。少なくとも2日〜3日分以上、水と食料を備蓄しておくことが、区の責務ではないか。」と、指摘した結果、3日分の備蓄を予算計上されるよう、実施計画が改定になるという情報を、いち早くここに付記しておきます。